

廃棄物の処理状況

1 掛川市のごみ排出量の状況

(1) 掛川市のごみ排出量の総計

(単位：t)

年度	燃えるごみ	燃えないごみ	資源物	合計	対前年比	資源化率	集団回収	リサイクル率	人口	世帯数
12年	24,577	5,777	3,151	33,505		9.4%	2,928	16.7%	113,114	33,484
13年	21,599	5,381	4,814	31,794	-5.1%	15.1%	3,156	22.8%	113,559	34,074
14年	19,666	4,229	6,461	30,356	-4.5%	21.3%	3,154	28.7%	113,917	34,536
15年	20,218	4,392	6,456	31,066	2.3%	20.8%	3,213	28.2%	114,247	35,208
16年	20,141	4,639	6,268	31,048	-0.1%	20.2%	3,499	28.3%	114,588	35,695
17年	23,098	2,569	6,156	31,823	2.5%	19.3%	3,668	27.7%	114,929	36,361
18年	25,005	799	6,217	32,021	0.6%	19.4%	4,032	28.4%	115,216	36,968
19年	22,418	617	6,437	29,472	-8.0%	21.8%	4,440	32.1%	115,449	37,602
20年	21,827	542	6,216	28,585	-3.0%	21.7%	4,911	33.2%	115,361	37,827
前年比	-591 -2.6%	-75 -12.2%	-221 -3.4%	-887 -3.0%		-0.1ポイント	471 10.6%	+1.1ポイント	-88 -0.1%	225 0.6%

*資源化率＝資源物量÷ごみ排出量の合計

*リサイクル率＝(資源物量＋集団回収量) ÷ (ごみ排出量の合計＋集団回収量)

(1) 燃えるごみ

- ① 燃えるごみの排出量が591 tの減少（前年比2.6%減）しています。
- ② 減少の要因は、ごみ減量大作戦へ市民一体となって取り組んだ成果です。

(2) 燃えないごみ

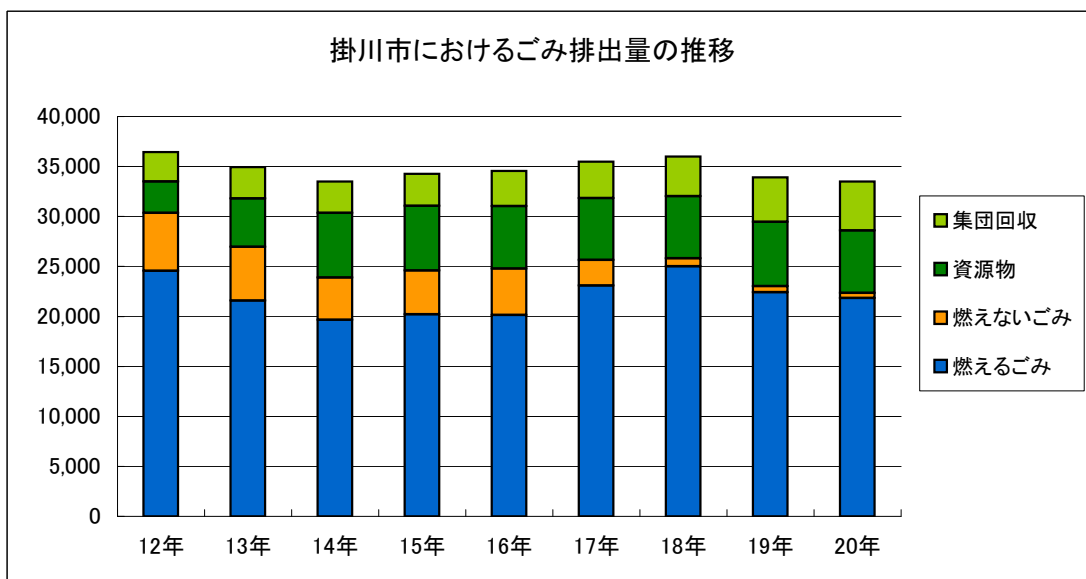
- ① 燃えないごみの排出量が75 tの減少（前年比12.2%減）しています。
- ② 減少の要因は、燃えるごみと同様、ごみ減量大作戦の成果によるものです。

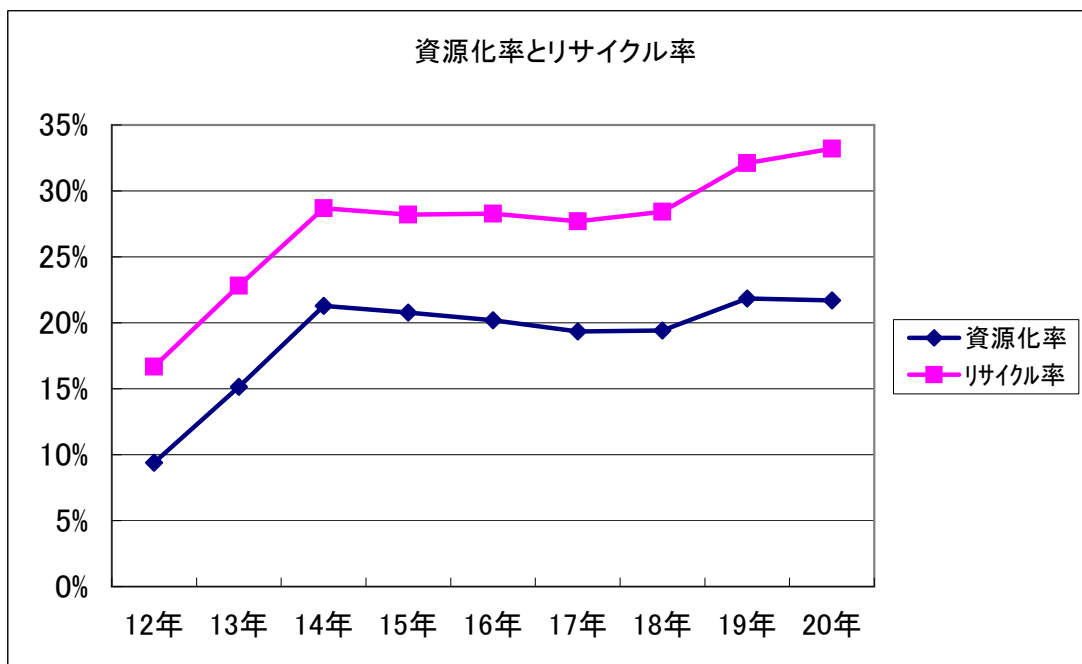
(3) 資源物

- ① 資源物の排出量が221 tの減少（前年比3.4%減）しています。

(4) 排出量について

- ① 1日1人当たりのごみの排出量は、678.9 gで前年比2.9%減少（前年度699.4 g）しています。
- ② 1日1世帯当たりのごみの排出量は、2,070.3 gで前年比3.6%減少（前年度2,147.4 g）しています。
- ③ リサイクル率は、33.2%で前年度32.1%を1.1ポイント上回っています。





(5) ごみ減量に向けての対策

- ① 分別の徹底と燃えるごみへの資源物(プラスチック資源、雑がみ)の混入を防ぐため、昨年度に引き続き専任職員を配置し、区役員、クリーン推進員と共にごみ集積所の巡回指導を実施します。また、地区の要望に応じて分別説明会の開催や啓発看板の作成を行います。
- ② 燃えるごみの減量に向けて、燃えるごみの約半分を占める生ごみの減量を図るため、生ごみ処理機構入費補助制度のPRと生ごみ処理容器作成講習会を開催します。
- ③ 剪定枝の地区回収を開始し、焼却量を減少させ、リサイクルを進めます。
- ④ アパート管理会社や人材派遣会社を対象とした説明会や個別指導を実施し、関連住民に対する改善指導に努めます。
- ⑤ 多量排出事業所へ立ち入り指導を実施し、ごみ処理現状報告を求めるとともに、モデル事業所の取り組みを紹介しながら、ごみ減量とリサイクル推進に向けた取り組みへの指導に努めます。

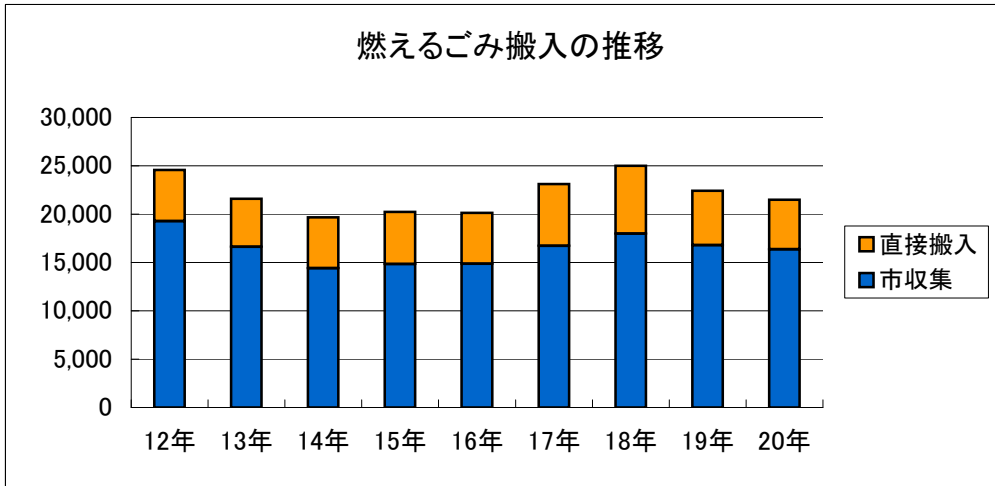
(6) 資源物リサイクルについて

- ① 食用油について35,070リットル回収し、自動車等の燃料になるBDFを精製しました。掛川市のごみの収集車5台に使用し延べ124,702km走行しました。これは、地球を3周できる距離で、その分石油資源を節約できたこととなります。
※地球1周=約40,000kmとして計算
- ② 古紙は、1,312トン収集しました。再生紙として利用することによって、20年～25年の立木26,240本を伐採せずすみしました。
※古紙1t=立木20本として計算

(2) 燃えるごみ排出量の推移

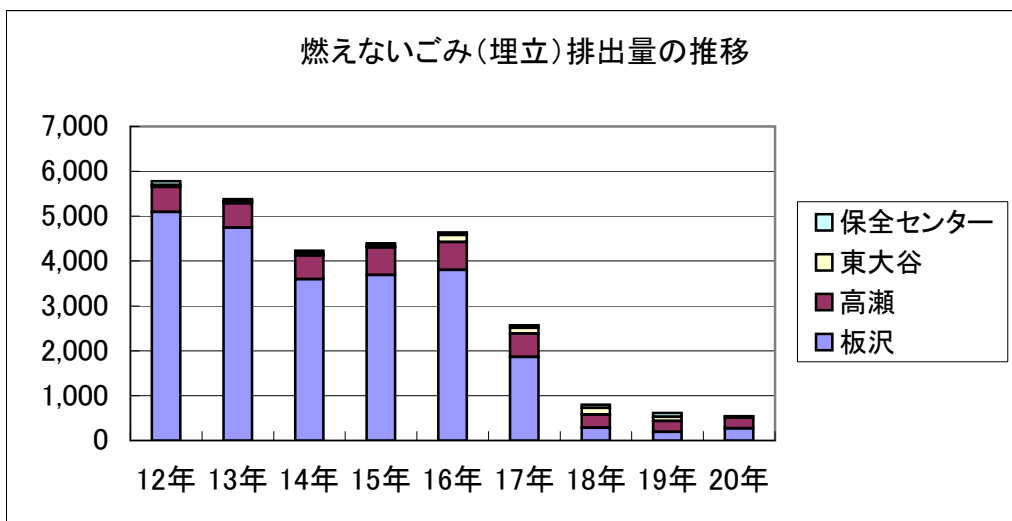
(単位：t)

年度	市収集	直接搬入	燃えるごみ	対前年 増加率
12年	19,282	5,295	24,577	
13年	16,633	4,966	21,599	-12.1%
14年	14,405	5,261	19,666	-8.9%
15年	14,828	5,390	20,218	2.8%
16年	14,874	5,267	20,141	-0.4%
17年	16,718	6,380	23,098	14.7%
18年	17,971	7,034	25,005	8.3%
19年	16,777	5,641	22,418	-10.3%
20年	16,342	5,138	21,827	-2.6%



(3) 燃えないごみ(埋立) 排出量の推移

年度	板沢	高瀬	東大谷	保全センター	燃えないごみ (埋立)	対前年 増加率
12年	5,094	556	43	84	5,777	
13年	4,746	543	43	49	5,381	-6.9%
14年	3,594	529	43	63	4,229	-21.4%
15年	3,692	610	32	58	4,392	3.9%
16年	3,803	618	163	55	4,639	5.6%
17年	1,859	524	129	57	2,569	-44.6%
18年	288	287	155	69	799	-68.9%
19年	190	248	92	87	617	-22.8%
20年	269	240	32		542	-12.2%



(4) 資源物排出量の推移

(単位：t)

年度	かん	びん	PET ボトル	プラスチック	白色 トレイ	古紙	古布
12年	609	1,084	132		19	537	40
13年	504	1,162	217	424	29	1,866	58
14年	484	937	234	854	38	3,263	68
15年	478	922	257	879	35	3,147	60
16年	455	890	253	940	35	2,968	54
17年	357	869	254	894	34	2,806	64
18年	401	796	279	875	34	2,739	55
19年	301	729	269	1,101	41	2,198	56
20年	282	711	237	1,159	30	1,312	16

(単位：t)

年度	金属回収	乾電池 蛍光管	食用油	排出量計	集団回収	合計	対前年 増加率
12年	722	8		3,151	2,928	6,079	
13年	540	14		4,814	3,155	7,969	31.1%
14年	548	35		6,461	3,153	9,614	20.6%
15年	616	61	1	6,456	3,213	9,669	0.6%
16年	614	41	18	6,268	3,499	9,767	1.0%
17年	812	40	26	6,156	3,668	9,824	0.6%
18年	971	35	32	6,217	3,974	10,191	3.7%
19年	908	42	35	5,680	4,440	10,120	-0.7%
20年	796	56	35	4,634	4,911	9,545	-5.7%

※ 白色トレイ、ペットボトルは、回収協力店の回収量も含まれます。

※ 白色トレイは平成7年4月から食品衛生協会が自主事業として始め、現在も継続して頂いております。

※ 平成15年度の食用油回収は、市内8地区のモデル地区の収集量です。

